

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会							
事業	① 指標名	在住外国人支援事業への外国籍市民の参加促進			目標値	対前年度増	実績値	749	
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	48.0%	達成状況	未達成	
	(単位: 人)	941	1,308	1,559					
	取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ボランティアの方々にZOOMの取り扱い方法の説明会を開催したことにより、リモートで支援事業を開催することができ、実地でのイベント以外の事業を継続した。 ②留学生ファミリープログラムは計画していたが、コロナ禍により新規留学生在が入学せず、既存の留学生のみの小規模の実施となった。 ③対面での相談事業は、感染リスクを考慮して定員を限定して実施し、電話だけでなくZOOMを活用してリモートで講座を開催した。 ④通訳派遣は、緊急事態宣言中は感染防止のため中止したが、それ以外の期間は実施した。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ZOOMを活用しリモートで実施できた事業もあるため一定の参加者は確保できたが、コロナ禍で多くの事業、講座が中止となり、外国人の参加を受け入れる場の提供が限られたため、外国籍市民の参加者は減少した。感染予防策を講じた対面事業実施及びリモートを活用することで事業の提供機会を増やし、参加者数を回復させる。							
	二次評価	コロナ禍においてもオンラインツールを活用し、リモートで支援を継続したことは高く評価する。今後はコロナ禍においても支援を継続できるように感染防止策を講じつつ、取組みを継続されたい。また、令和3年度に市が実施する外国籍市民意識調査の結果を踏まえ、新たな事業の展開を検討いただきたい。							
	財務	② 指標名	流動比率の適正化			目標値	200%~300% 台を維持	実績値	636.7
		過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	47.1%	達成状況	未達成
		(単位: %)	372.5	321.7	391.2				
		取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 コロナ禍で多くの事業、講座が中止・延期となったため全体の一般正味財産期末残高が昨年度に比べ400万円ほど増加したため、流動比率が上昇した。ただし、収支償還に影響がある公益目的事業の一般正味財産期末残高は240万円ほどの増加に留めた。						
一次評価		※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 どの公益法人でもコロナ禍で事業の中止・縮小を余儀なくされ、剰余金が例年より多く出る傾向にあるため、内閣府公益認定委員会より「収支償還については単年度の収支が必ず均衡をとることを求めるものではなく、中長期的に収支が均衡すればこれを満たすものとして運用している」との見解が示された。これに基づき、流動比率の適正化についても複数年度を見越して調整していく。							
二次評価		コロナ禍において剰余金が多く発生したことは他団体でも同様な傾向があるため、中長期的に収支が均衡するようバランスの適正化に努めていただきたい。							
内部		③ 指標名	MIA事業へのボランティアの参加促進			目標値	対前年度増	実績値	268
		過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率	72.4%	達成状況	未達成
		(単位: 人)	353	364	370				
		取組内容	※R2年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ボランティアの方々にもZoomの取り扱い方法の説明会を開催し、リモートで事業を開催できるよう支援した。 ②ボランティア説明会・ボランティア養成講座を計画していたが、コロナ禍を踏まえ中止した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ZOOMを導入しリモートによる事業実施を推進したが、様々な事業を中止したこと、ボランティア説明会・ボランティア養成講座を中止したため新規ボランティアを育成できなかったこと及び留学生減少によりホームビジットファミリーが減少したため、対前年比減となった。感染予防策を講じた対面事業及びリモートを活用した事業を実施することにより、参加機会を従前の水準まで戻し、ボランティア参加者数を増やす。							
	二次評価	多様な参加を確保していくうえでも引き続きリモートの手法については継続していただきたい。コロナ禍において対面イベント等が縮小したことにより低下したボランティアのモチベーション向上に向けた取組みについて検討いただきたい。							